

## あいち健康の森薬草園指定管理者運営モニタリング結果（2019年度）

### 1 施設の概要

施設名	あいち健康の森薬草園
所在地	大府市森岡町9丁目319番地
設置根拠	あいち健康の森薬草園条例（平成27(2015)年 供用開始）
設置目的	薬草の活用を通じて県民の心と体の健康づくりに対する意識の向上を図る。
施設概要	敷地面積 総面積 28,250 m <sup>2</sup> （園地 12,000 m <sup>2</sup> 、その他 16,250 m <sup>2</sup> ）
	主な建物 研修展示施設・ボランティア交流センター（RC造 1階）280 m <sup>2</sup>
	駐車場 140台
	開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで
	休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌開園日）、年末年始（12月29日～1月3日）

### 2 指定管理概要

指定管理者名	愛知県薬剤師会・日誠グループ（株式会社日誠、一般社団法人 愛知県薬剤師会）
指定期間	2015年4月1日から2020年3月31日まで
指定管理者選定時の主な提案内容	薬用植物観察会の年4回の開催、春・秋に薬草栽培教室の実施及びハーブ栽培教室の年4回の開催、自然散策・薬草教養講座の年2回の開催、ハーブティー講座の年6回の開催、薬酒講座の年2回開催、常設展示の年3回程度入替
提案事業の実施状況	大規模イベントの実施（ゴールデンウィーク 2,689人、9月 341人、3月開催予定分は新型コロナウイルス対策のため中止）、初めての薬草入門講座9回、初心者のためのハーブ教室6回開催、「身近な春の薬草・野草試食会」など薬草園スタッフによるイベント及び講座40回、参加者819人、「ハーブ酢作り」など薬剤師会講師による講座15回、参加者417人、見学会など施設利用イベント27回、参加者687人、健康の森公園への出前講座など地域連携イベント7回、参加者1,016人

### 3 利用状況

（単位：人、件）

区分	2019年度		2018年度		増減 (①-②)
	計画値	実績値(①)	計画値	実績値(②)	
施設利用	31,190	34,243	27,720	31,601	2,642
うち ボランティア交流センター	—	1,440	—	1,041	399
うち 研修展示室	—	769	—	1,449	△680
計	31,190	34,243	27,720	31,601	2,642

※計画値とは、指定管理者を選定する際に提出された計画値を指します。

## 4 収支状況

(単位:千円)

区分	2019年度		2018年度		増減 (①-②)
	計画値	実績値(①)	計画値	実績値(②)	
収入計	14,456	14,669	14,193	14,394	275
利用料金収入	—	—	—	—	—
指定管理料	14,456	14,456	14,193	14,193	263
その他	0	213	0	201	12
支出	14,456	17,372	14,193	16,789	583
収支差	0	△2,703	0	△2,395	△308

## 5 モニタリング結果

### (1) 総合評価

評価	評価内容
A	施設の管理に関しては、来園者に快適に過ごしてもらえるように、利用者の安全に配慮した取組が継続できている。また、サービスの維持・向上に関しては、薬草の植栽や展示の工夫などにより利用促進に取り組んでいることが伺える。特に、薬草園の広報においては、認知度向上に向けた大規模イベントの開催に加え、地元市町の広報誌への掲載やブログによる情報発信、地域の催しに参加して薬草茶を配布するなど、積極的な活動は評価できる。なお、運営の安定性を高めるための支出の削減については、緑地維持管理のための効率的作業の取組を一層進め、収支状況の改善に努めていただきたい。

### (2) 区分ごとの評価

区分名称	評価	評価内容
基本項目	A	法令等に基づき適切に管理されており、利用者の利用の確保が図られている。
施設の適正な管理	A	施設の快適な利用及び適正な管理運営に努めている。
サービスの維持・向上	A	アンケートの実施や苦情対応など、施設利用者の意見を真摯に受け止め、より良い薬草園にしていくという意識が感じられる。また、地元と連携したイベントの開催や講座の内容を工夫するなど、利用者へ提供するサービスの向上に努めている。
運営等の安定性	A	薬草園運営に必要な人材を確保し、計画的に事業を進めることができている。 なお、現状の薬用植物の植栽状況を維持、充実させることを考えると、除草、剪定等の緑地維持管理費を大幅に縮減することは困難であることは理解できるが、効率的作業の取組を一層進め、収支状況の改善に努めていただきたい。

#### 【評価の基準】

S 県の求める水準を大幅に上回る    A+ 県の求める水準を上回る    A 県の求める水準（業務仕様書の水準）  
B 県の求める水準に対して一部不十分    C 県の求める水準に対して不十分

### (3) 今後の対応等

薬草園のイベント開催時に県ホームページに案内を掲載するなど、引き続き薬草園のPRを支援していく。また、開園以来、着実に充実してきた薬用植物の植栽水準を維持しつつ、より来園者に楽しんでいただける施設となるよう、薬業関連企業やボランティアとも連携しながら、効率的な管理運営及び賑わいの創出のための取組を実施できるよう助言していく。

## 6 利用者からの反応

講座、イベント開催時に実施したアンケートについては、参加者から「とてもよかった」「また参加したい」「いろいろ勉強になりました」等の意見が寄せられ、概ね好評であった。「子供も楽しめる講座を増やしてほしい」「すぐに定員になるので、人気のある講座は、2回開催してほしい」といった要望があった。新型コロナウイルス対策のため、定員を減らして、講座を開催することになるため、午前と午後の2回開催について検討する。

苦情に関しては、大府市商工会議所主催の記念植樹を園内で行った方から「木が枯れている」という申し出があったため、園から商工会議所へ植え替えを依頼し、了解を得た旨、苦情者に連絡し、ご理解をいただいている。

また、オタネニンジンの試験栽培について、「説明の掲示板か何かを設置してほしい」との要望があったため、翌日案内看板を設置した。

## 7 その他

開園後、薬草の生育が芳しくなく、一部の植栽が枯れたり、成長が遅かったりといった状況が薬草体験農場及び圃場で認められたため、2015年10月から協力企業の支援を受けて『漢方堆肥』による土壌改良を実施しており、2019年10月に予定していた土壌改良をすべて完了した。現在は、改良前に比べて土が肥え、植物の生育が良くなり、土壌改良の効果が現れている。

2019年3月に植樹した桜の苗木のうち、枯れたものについて、冬季に植え替えを行う予定にしている。

## ○ 問い合わせ先

保健医療局生活衛生部医薬安全課監視グループ  
電話：052-954-6344（ダイヤルイン）  
ファクシミリ：052-953-7149  
メールアドレス：iyaku@pref.aichi.lg.jp